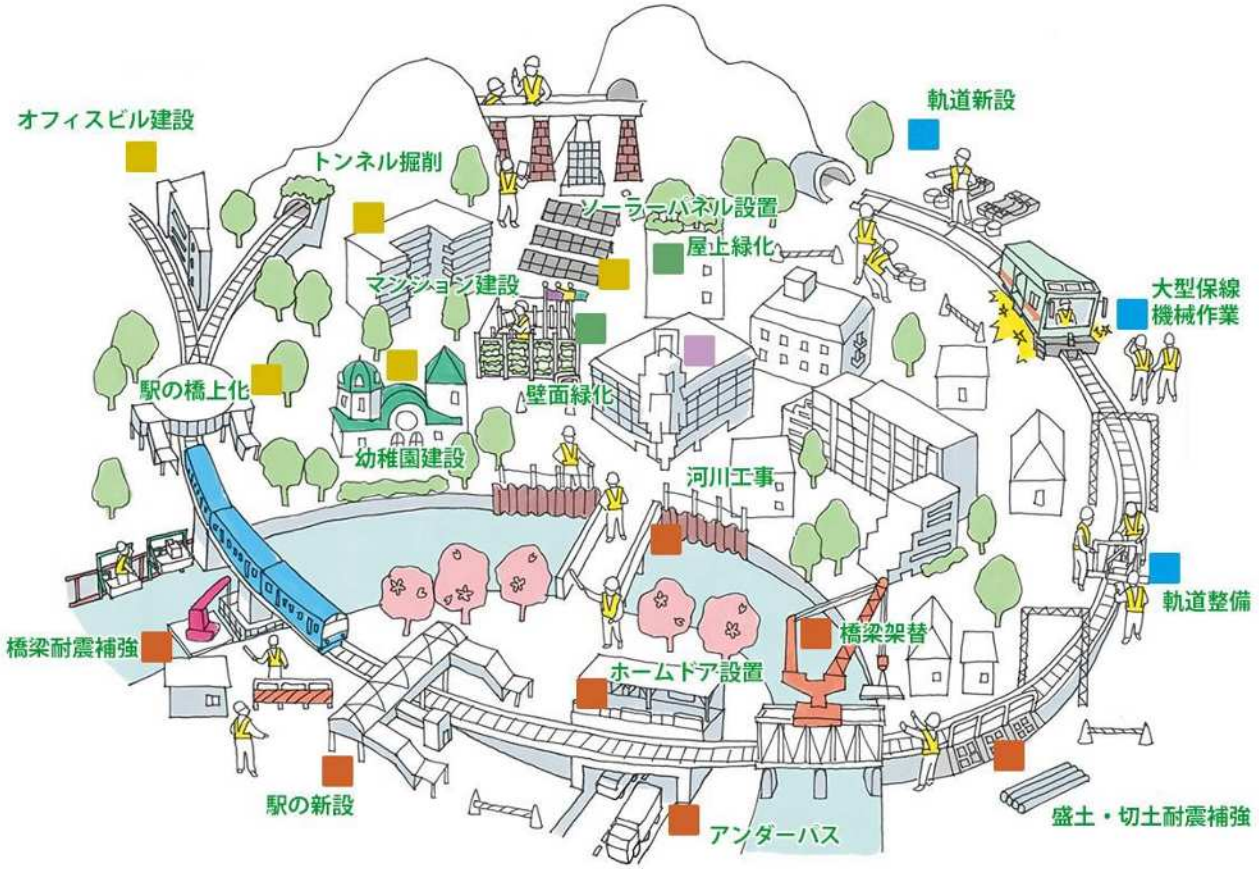
誠実で☆キラリと光る☆ナンバーワン&オンリーワン

TOTETSU



2022年9月

東鉄工業株式会社（東証プライム：1835）

目次

目次

1.会社概要	3～12
2.業績推移と数値目標	13～15
3.株価推移	16
4.中計基本方針:成長戦略	17～26
5.中計基本方針 : Power Up Project Ⅱ	27～30
6.参考	31

出席者

代表取締役社長	前川　忠生
取締役専務執行役員 経営企画本部長	下村　光

新社長プロフィール

代表取締役社長
前川 忠生（まえかわ ただお）

1955年	兵庫県出身
1981年	東京大学 工学部 土木工学科 卒業 日本国有鉄道 入社
1987年	東日本旅客鉄道株式会社 入社
2016年	同社 常務取締役東京支社長
2019年	同社 代表取締役副社長 鉄道事業本部長
2021年	東鉄工業株式会社 代表取締役社長就任

本資料は、全て連結決算数値で表示しております

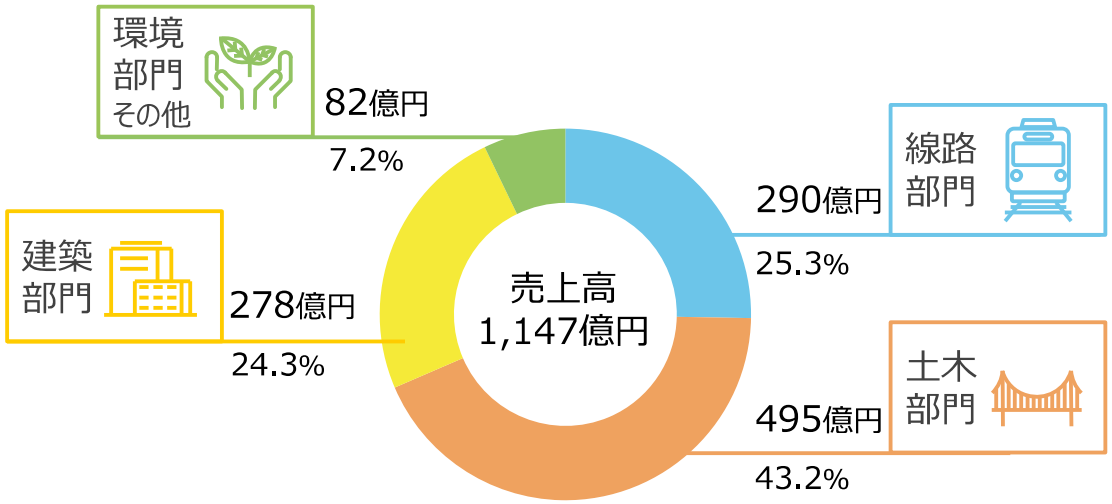
1.会社概要

鉄道関連工事の専門技術をコアコンピタンスとする総合建設業

会社名	東鉄工業株式会社（TOTETSU　KOGYO　CO.,LTD.）
本社	東京都新宿区信濃町34番地
設立	1943年（昭和18年）7月7日
資本金	28億1,000万円
代表者	代表取締役社長　前川　忠生
従業員数	1,856人（連結）
グループ会社（連結子会社）	● 東鉄機工株式会社　● 東鉄メンテナンス工事株式会社　● 株式会社全溶 ● 興和化成株式会社　● 東鉄創建株式会社
売買単位	100株
株主構成	主要株主については7ページをご参照

2022年3月期部門別売上高・構成比

部門	売上高	構成比
線路部門	290億円	25.3%
土木部門	495億円	43.2%
建築部門	278億円	24.3%
環境部門 その他	82億円	7.2%

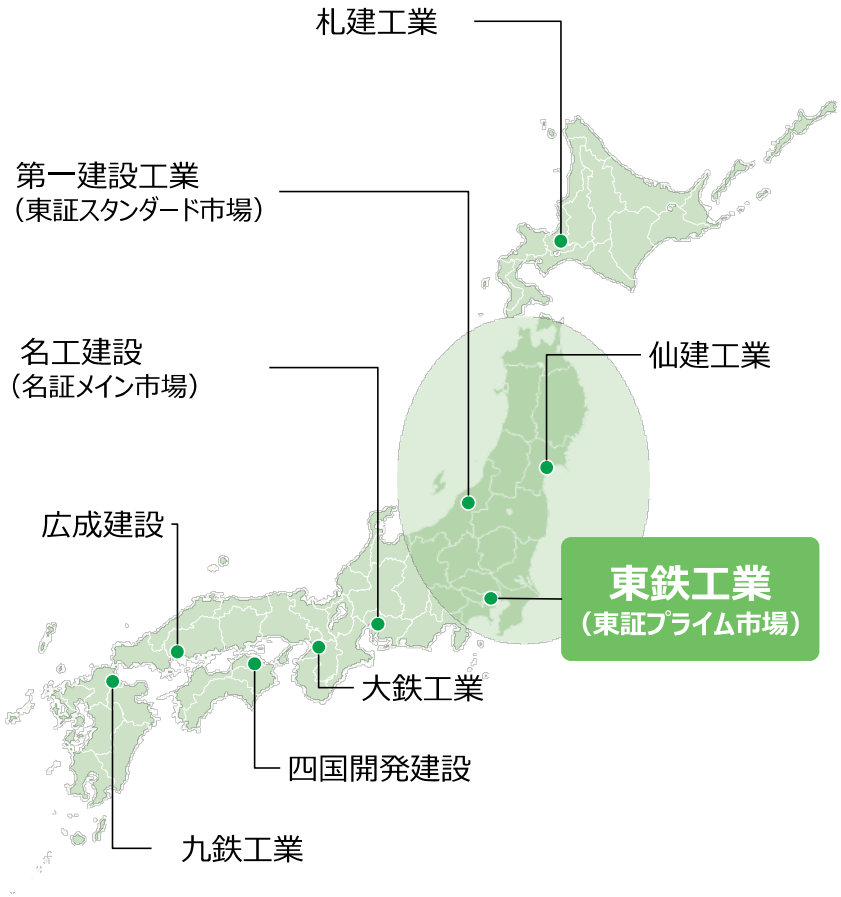


1.会社概要

設立以来79年の歴史

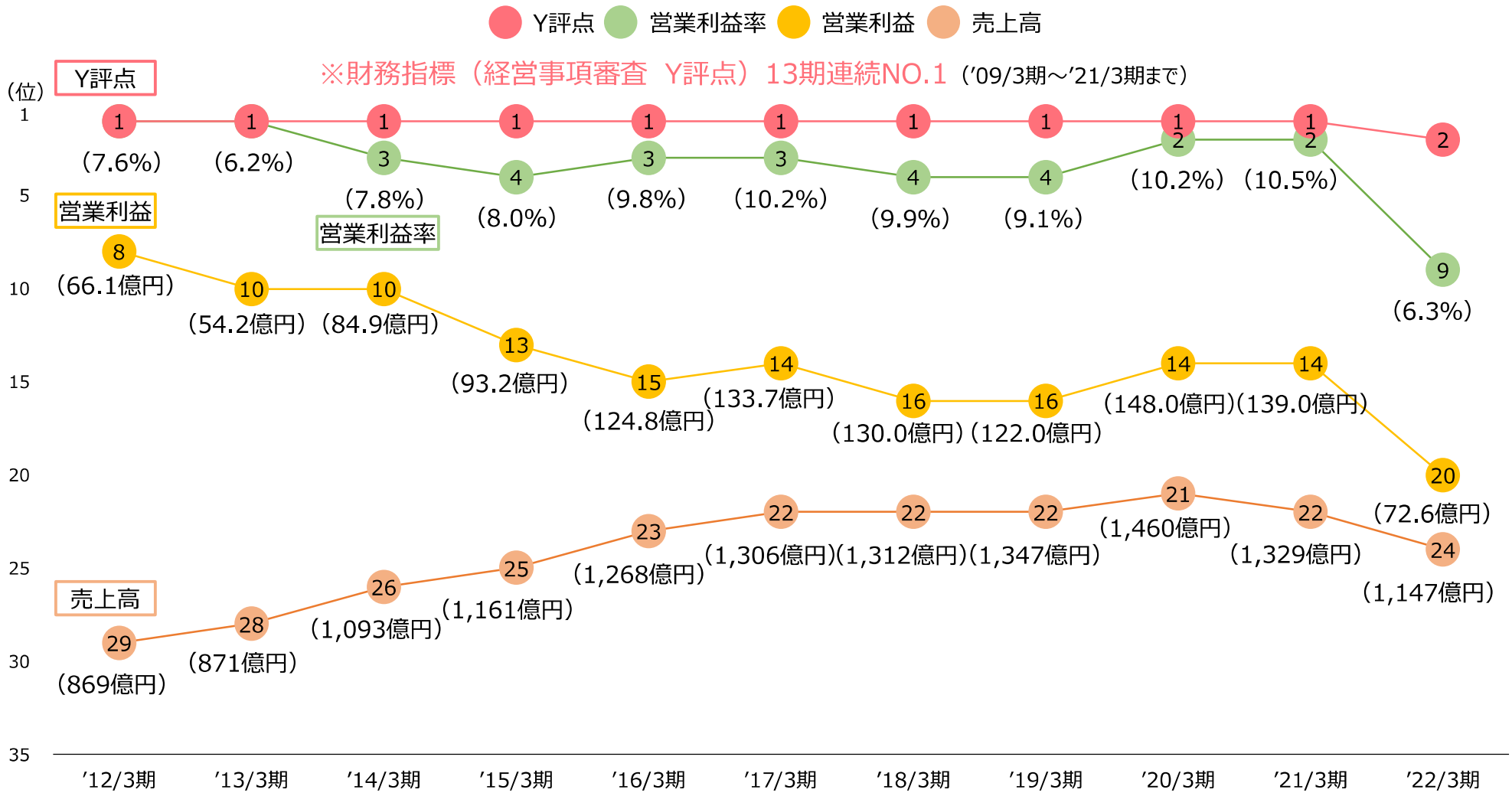
1943年 (昭和18年)	7月	「東京鐵道工業株式会社」設立 鉄道の保持・強化を目的に、当時の鉄道省の要請により、関東地方の建設業者が企業合同し、国策会社「東京鐵道工業株式会社」として、丸の内1丁目1番地に設立
1952年 (昭和27年)	7月	商号を「東鉄工業株式会社」に変更。
1953年 (昭和28年)	3月	本店を東京都千代田区神田仲町1丁目5番地に移転。
1962年 (昭和37年)	11月	株式を東京証券取引所市場第二部に上場。
1963年 (昭和38年)	8月	本店を東京都新宿区市谷砂土原町2丁目7番地に移転。
1972年 (昭和47年)	10月	株式を東京証券取引所市場第一部に上場。
2005年 (平成17年)	1月	本社を東京都新宿区信濃町34番地に移転。
2022年 (令和4年)	4月	市場区分再編に伴い、上場市場を東京証券取引所プライム市場に移行。

鉄道省（当時）の要請により設立した会社



1.会社概要

主要財務指標の業界順位（過去10年間）



注１：建設経済研究所による主要建設会社決算分析40社の内、プライム、スタンダード市場上場33社を対象

注２：上記数値及び指標は連結決算ベースで集計（受注高のみ単体集計）数値及び順位については一部推定によるものも含む

注３：出典：2022年３月期決算短信

注４：経営事項審査Ｙ評点は、2022年３月期時点での直近決算数値より当社が試算した推定値（公共工事の入札に参加する建設業者の経営状況を国土交通省が定めた基準により表す指標）

1.会社概要

経営理念

～安全はすべてに優先する～

東鉄工業グループは、鉄道専門技術の特性を活かした総合建設業として、
安全で快適な交通ネットワークと社会基盤の創造に貢献いたします。

事業ビジョン

- 鉄道の保守・改良をはじめとする鉄道関連工事のリーディングカンパニーとして、
- その高い専門的技術力と高品質な施工実績による信頼を基に、
- 健全なインフラの構築・維持及び良好な環境の創造と保全を通じて、
- 安全・安心で地球環境に配慮した持続可能な社会の実現に貢献し、
- 専門プロ集団として、建設業界に独自の地歩を確保してまいります。

コーポレートメッセージ

誠実で☆キラリと光る☆ナンバーワン＆オンリーワン

誠　実　で	ステークホルダーから信頼される「誠実な経営」の推進
キ ラ リ と 光 る	専門技術と豊富な経験で、最高レベルの安全と品質を提供
ナ ン バ ー ワ ン	鉄道インフラのメンテナンス分野でナンバーワン
オ ン リ ー ワ ン	線路、土木、建築、環境の４分野の独自性と相互シナジー

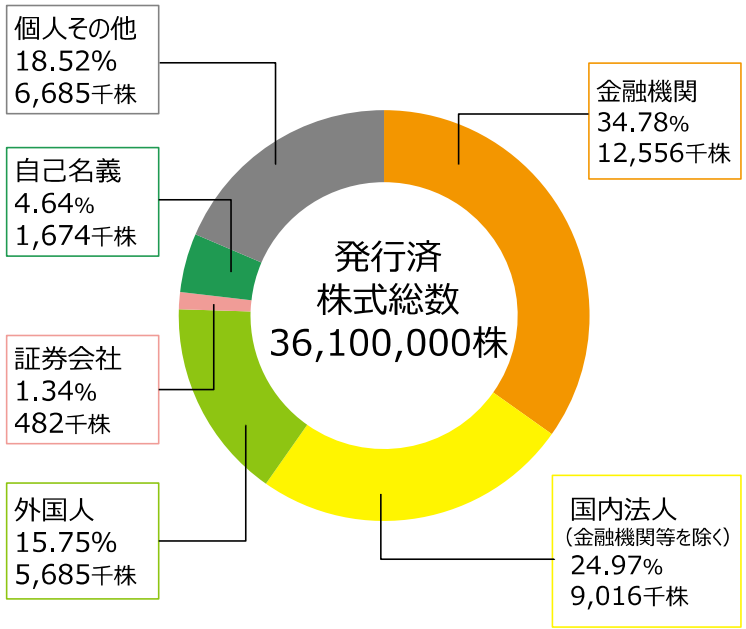
1.会社概要

株主構成　大株主の状況（上位10名）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	4,428	12.86
東日本旅客鉄道株式会社	3,659	10.63
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	1,940	5.64
日本電設工業株式会社	1,088	3.16
株式会社みずほ銀行	789	2.29
株式会社常陽銀行	777	2.26
鉄建建設株式会社	770	2.24
東鉄工業社員持株会	762	2.21
明治安田生命保険相互会社	731	2.12
Northern Trust Co.(AVFC)Sub a/c USL Non-Treaty	578	1.68

※当社は、自己株式を1,674千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



1.会社概要

「鉄道」を軸に、相互にシナジーを発揮する4つの事業部門

線路事業

- JR東日本を中心に、線路メンテナンス工事シェア我国No.1
- 高性能な大型保線機械を活かした施工力
- 軌道新設工事（新幹線・地下鉄・私鉄）首都圏プロジェクトの実績豊富

建築事業

- 駅関連施設／鉄道近接建物に強み
- マンション・オフィス・店舗・工場等の実績豊富
- リニューアル・耐震補強等の受注拡大中
- 環境事業と協働で、ワンストップショッピング戦略、一気通貫戦略を展開中

鉄道関連工事の

リーディングカンパニー

高い専門的技術力

高品質な施工実績

土木事業

- 鉄道土木関連特殊工法に強み
- 耐震補強の実績豊富
- 防災・立体交差工事等の高い技術力
- 整備新幹線の実績豊富

環境事業

- ECO（エコ）関連ビジネス積極展開中
- 緑化（壁面・苔）・太陽光発電・アスベスト除去
- ZEB化・暑熱対策事業にも注力
- 他部門とのシナジーを活かした事業展開

1.会社概要　線路部門

レール削正車

マルチプルタイタンパ

北陸新幹線　小松軌道敷設

REXS（新幹線レール交換システム）

1.会社概要　土木部門

JR只見線
第七只見川橋りょう災害復旧工事

小名浜～常磐自動車道
常磐自動車道　小名浜道路新設工事

新幹線トンネル耐震補強工事

JR総武線（スマートホームドア®）
JR小岩駅ホームドア新設に伴うホーム改良工事

1.会社概要　建築部門

日比谷OKUROJI新築工事

ホテルメッツ秋葉原新築工事

JR中央本線
山梨市駅橋上本屋ほか新築その他工事

ヤマデンNSJ新築工事

1.会社概要　環境部門

JR武蔵野線 東所沢駅
リニューアルに伴う壁面緑化工事

新横浜公園周辺における
緑化による暑熱対策事業

JR上野駅公園口壁面緑化

熱田神宮
くさなぎ広場東屋屋根苔緑化

2.業績推移と数値目標

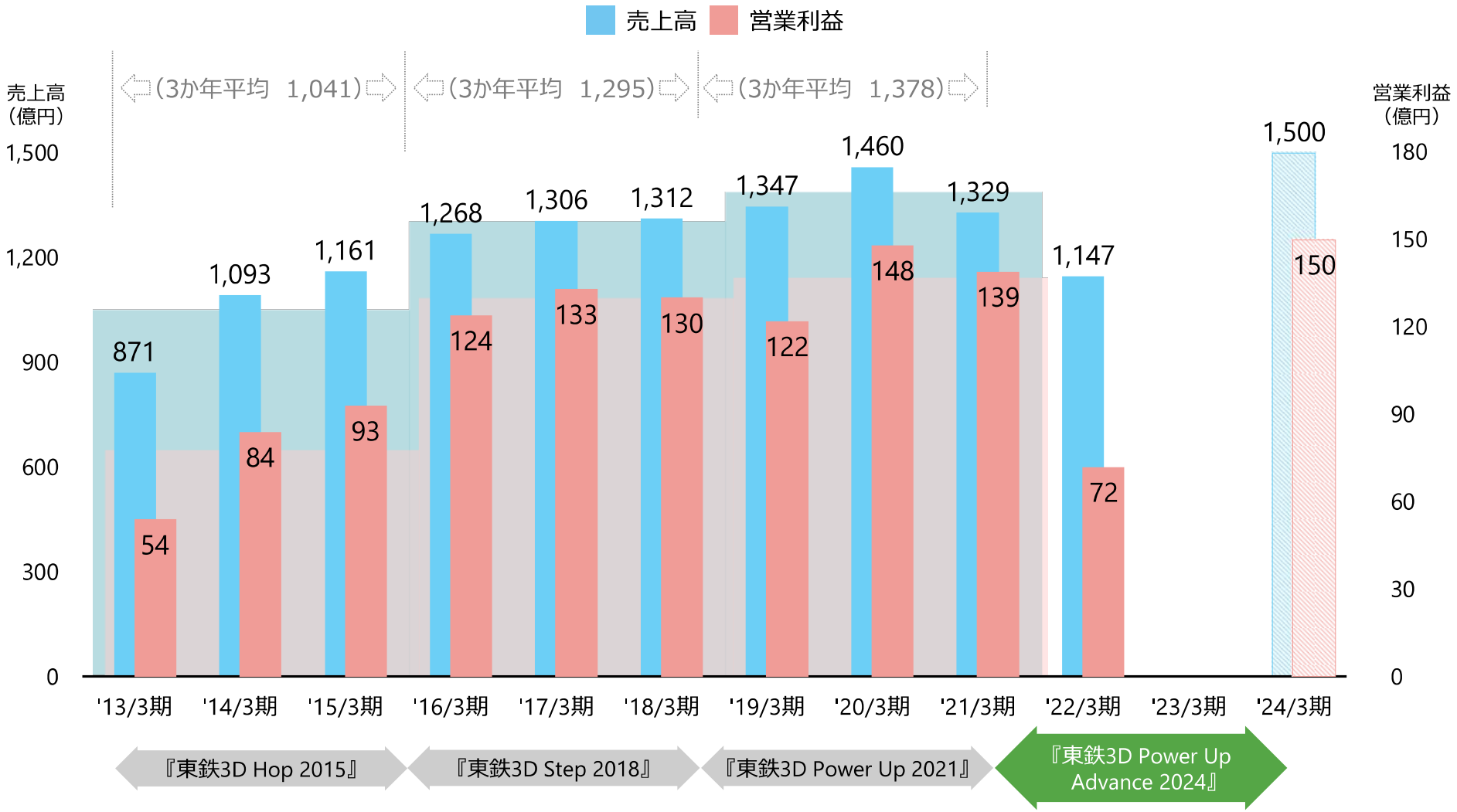
’22/3期実績及び’23/3期計画値

（百万円、%）

科目	’21／3期	’22／3期			’23／3期	’24／3期
	実績	実績	’21／3期比		計画値	（中計目標）
			増減額	増減率		
前期繰越高	79,686	78,798	▲887	▲1.1%	90,651	–
受注高	122,406	118,286	▲4,120	▲3.4%	124,000	–
売上高	132,919	114,718	▲18,201	▲13.7%	131,700	150,000
売上総利益（率）	21,729 (16.3%)	14,784 (12.9%)	▲6,945	▲32.0%	17,330 (13.2%)	–
販管費（率）	7,814 (5.9%)	7,523 (6.6%)	▲291	▲3.7%	8,330 (6.3%)	–
営業利益（率）	13,915 (10.5%)	7,261 (6.3%)	▲6,654	▲47.8%	9,000 (6.8%)	15,000
経常利益（率）	14,293 (10.8%)	7,576 (6.6%)	▲6,716	▲47.0%	9,400 (7.1%)	–
親会社株主に帰属する当期純利益（率）	9,689 (7.3%)	5,326 (4.6%)	▲4,363	▲45.0%	7,300 (5.5%)	–
次期繰越高	78,798	90,651	+11,852	+15.0%	90,451	–
ROE	10.6%	5.5%	▲5.1P	–	–	10%以上
総還元性向	30.2%	54.9%	+24.7P	–	–	40%以上 【DOEも意識した安定的な株主還元】

2.業績推移と数値目標

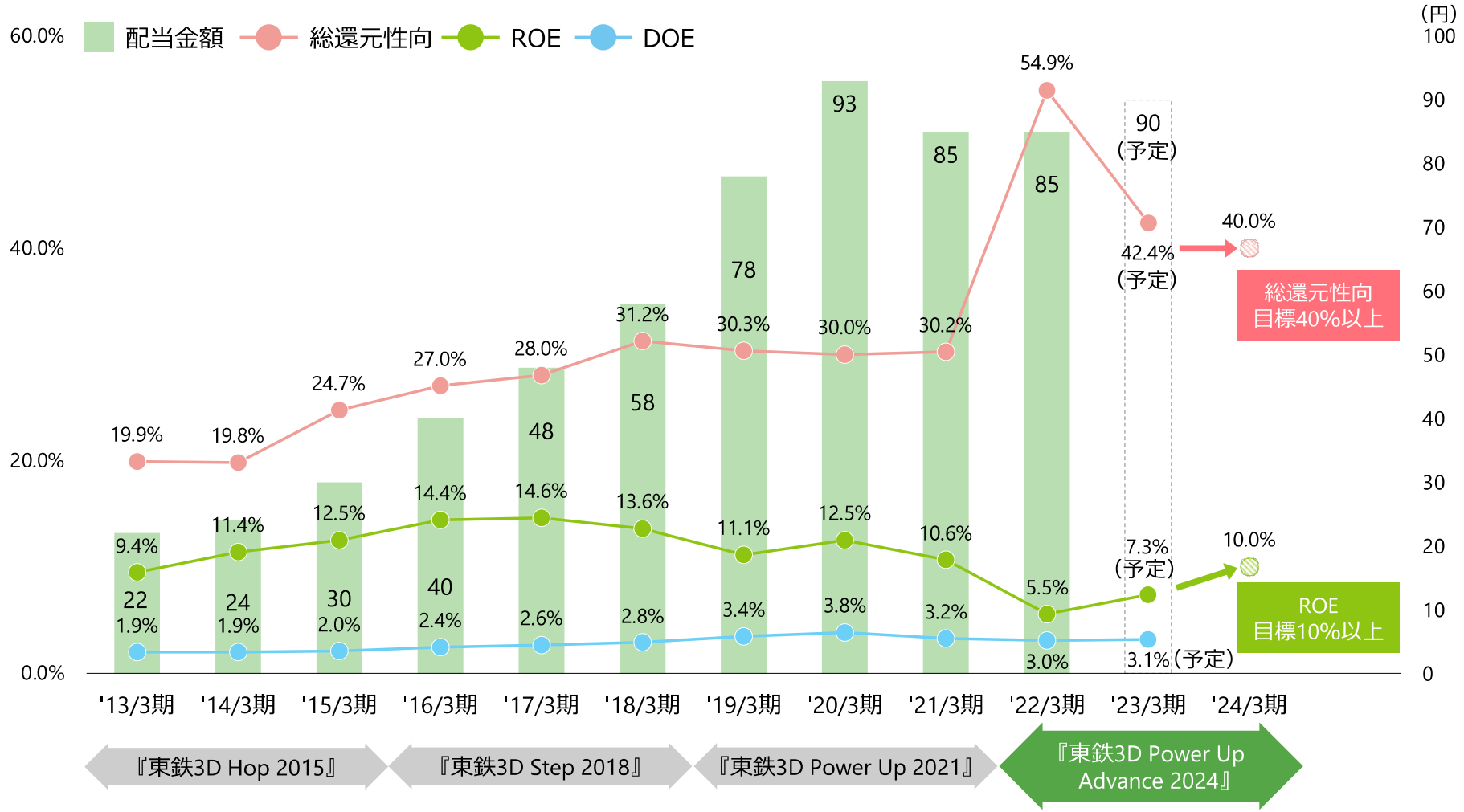
実績推移と数値目標（売上高・営業利益）



2.業績推移と数値目標

実績推移と数値目標（資本効率・株主還元）

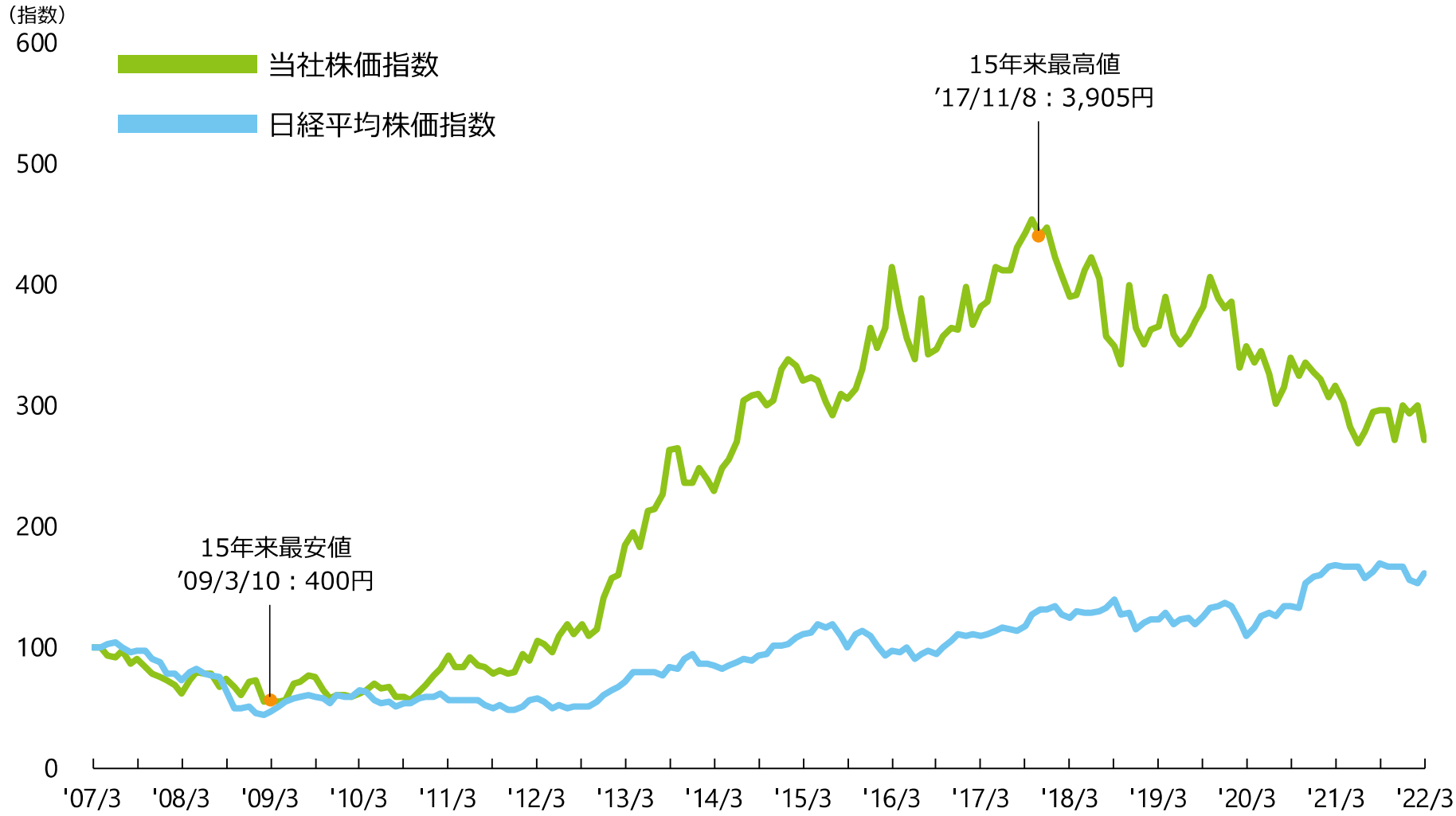
中計目標 ’24／3期	ROE	10%以上を目標
	総還元性向	40%以上を目標【DOEも意識した安定的な株主還元】



3.株価推移

株価推移

※’07年3月末日の終値を100とした場合



4.中計基本方針：成長戦略

Ｘ・Ｙ軸を伸ばす「成長戦略」

特殊性の高い鉄道工事の施工力などの当社の強みにさらに磨きをかけ、その強みを最大限に活かして以下の成長戦略を推進し、軸をブラすことなく成長を図る。

1

JR東日本の
保守・改良・プロジェクト工事

2

JR東日本における
領域を拡大

3

JR東日本以外の
鉄道事業者へ事業展開

4

鉄道関連、鉄道近接の
公共・民間工事を拡大

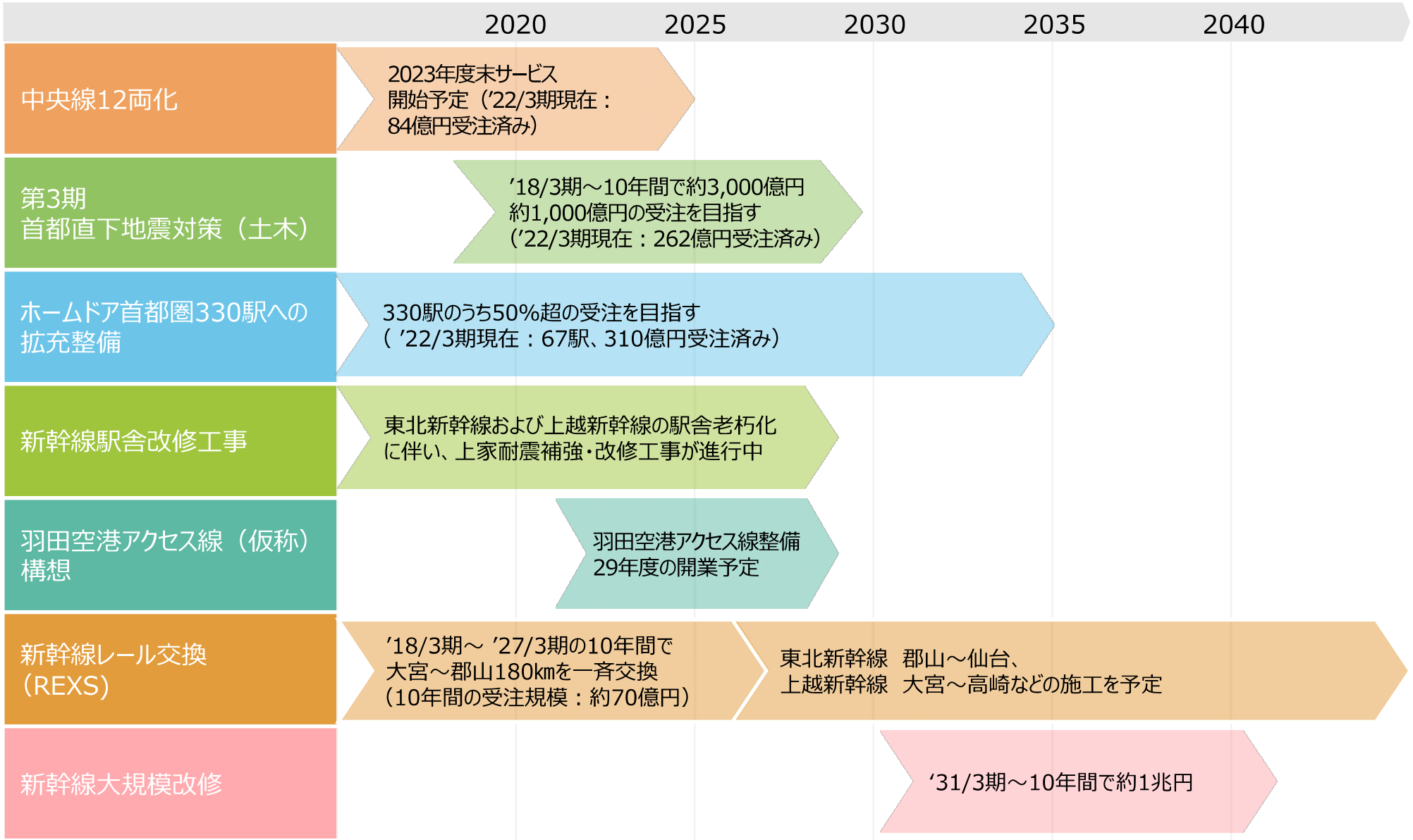
5

防災、長寿命化、
「供用しながら設備を修繕・改良する」を
切り口に、公共・民間工事を拡大

6

鉄道工事の経験と信頼を活かし、
民間マンション、工場、
事務所等の受注

4.中計基本方針：成長戦略



4.中計基本方針：成長戦略

第2期工事

- ’13／3期から10年間（総額3,000億円規模）で首都圏鉄道インフラの耐震補強対策を推進
- 前半の約5年間（重点期間）で、約8割の工事を完了済み
- 当社実績は、’22／3期までに受注1,297億円、完工1,267億円

第3期工事

- ’18／3期から10年間／総額3,000億円規模が見込まれる（重点期間は設けない）

実績

(単位：億円)

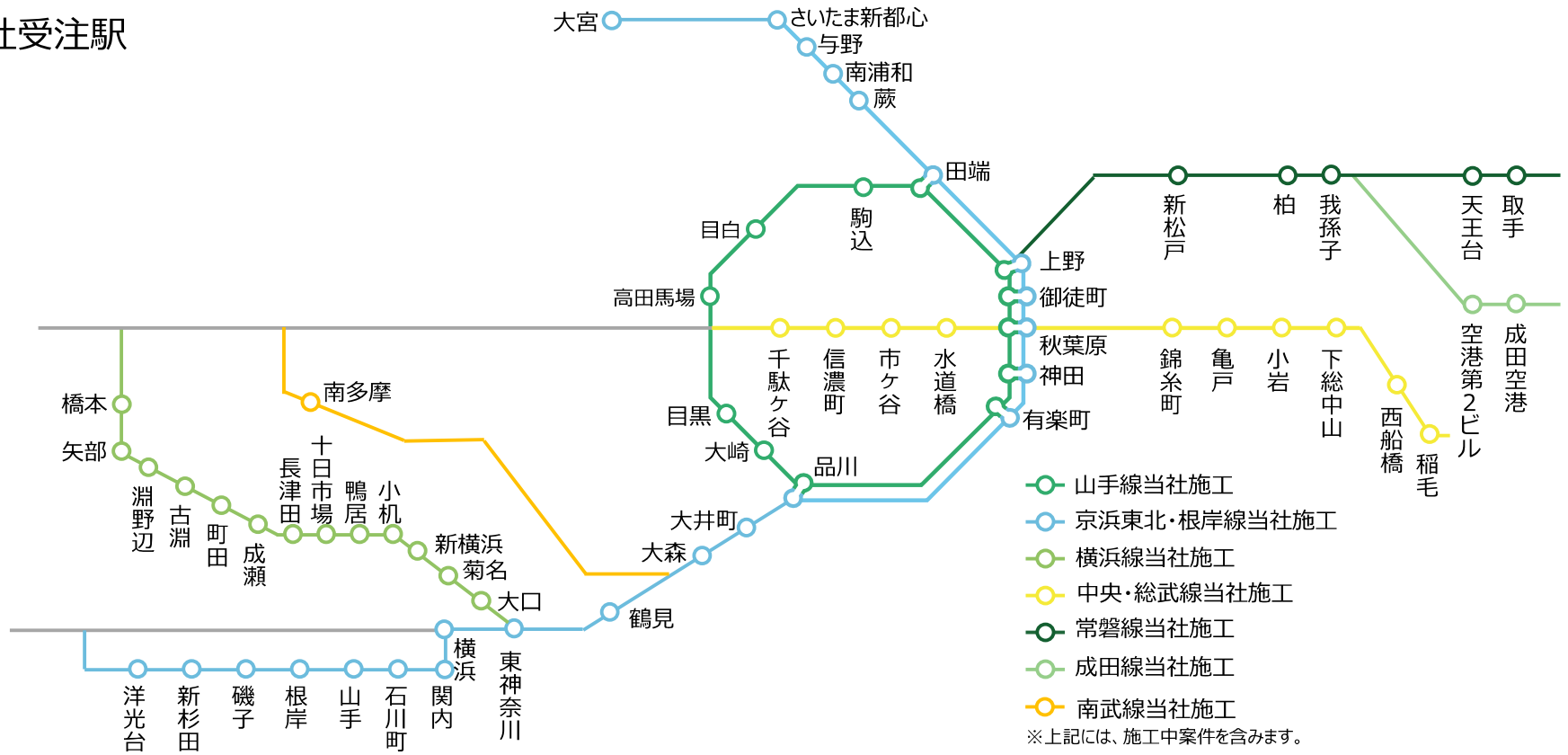
		‘13/3期	‘14/3期	‘15/3期	‘16/3期	‘17/3期	‘18/3期	‘19/3期	‘20/3期	‘21/3期	‘22/3期	合計
第2期	受注高	135	230	272	165	137	116	105	90	22	23	1,297
	完工高	32	130	223	231	212	146	109	94	51	36	1,267
第3期	受注高	—	—	—	—	—	45	41	40	92	43	262
	完工高	—	—	—	—	—	2	8	29	56	54	151

4.中計基本方針：成長戦略

- 2031年度末までに東京圏在来線の主要路線330駅758番線に整備範囲を拡大（2022/4/5 JR東日本発表）
- これまでに約50%の施工を担当、全体計画においても駅数シェア50%超の受注を目指す

	～'16/3期	'17/3期	'18/3期	'19/3期	'20/3期	'21/3期	'22/3期	合計
受注駅	14駅	4駅	6駅	5駅	17駅	14駅	7駅	67駅
受注高	58	18	27	28	84	45	50	310
完工高	55	11	23	29	59	64	47	288

当社受注駅



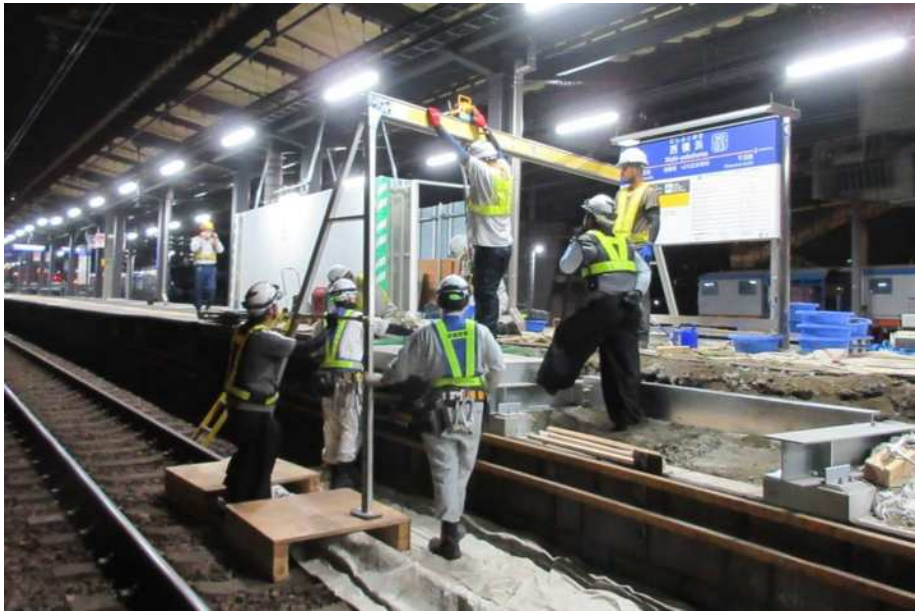
4.中計基本方針：成長戦略

ホームドア用軌陸式門型クレーン

従来、PC板の運搬・敷設には、山越器による作業で人員6～8人で行っていました。

そこで、一台でPC板の運搬・敷設を同時に行うことを可能にした門型クレーンを搭載した軌陸車を開発

（従来）山越器



軌陸式門型クレーン

4.中計基本方針：成長戦略

ホーム改良工事　警告ブロック付きホーム工事用仮設覆工板

ホームで工事を行うときは、覆工板等で仮覆工した後、作業のたびに覆工板に点字ブロック等を貼り付けていました。
しかし、強風時に飛散したり、劣化しめくれ上がるとお客様の転倒リスクが高くなります。

そこで、ホームからの転落防止対策、飛散防止対策などの機能を付加した「警告ブロック付きホーム工事用仮設覆工板」を開発

開発後	● 従来の点字貼付け方法から覆工板に直接プレス加工した点状・線状突起仕様に変更 ▶時間の短縮ができて作業の効率化アップ ● 点字シートのめくれ等による躓きを無くした▶お客様のホーム上での安全向上にも繋がる

（従来）覆工板に点字シートを貼り付け

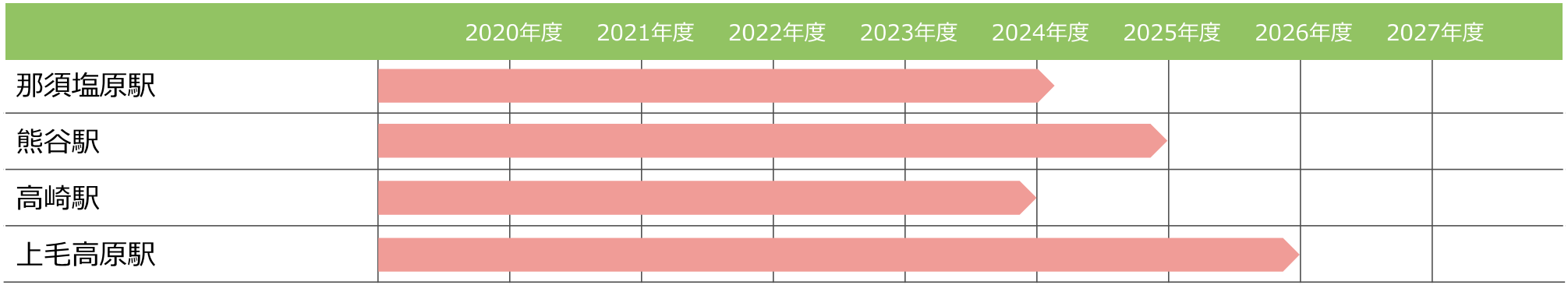
警告ブロック付きホーム工事用仮設覆工板

4.中計基本方針：成長戦略

新幹線旅客上家改修工事

1982年に開業した東北新幹線および上越新幹線の駅舎老朽化に伴い、
将来にわたる安全・安定輸送確保の観点から、上家耐震補強・改修工事が進行中

当社施工駅



那須塩原駅

熊谷駅

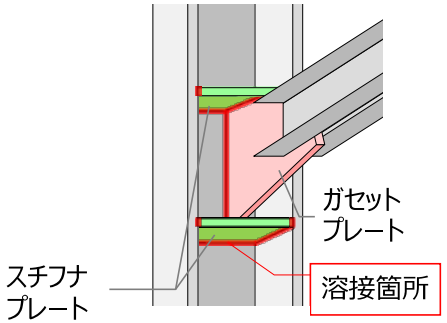
4.中計基本方針：成長戦略

スマートウィクシス工法

- 耐震補強工事においてH形鋼柱に方杖を設置する際、現場溶接が必要となる。
- しかし旅客上家などの鉄道工事では、終初電間合いの作業となり施工率が悪く、工事費や工期の増大の要因となっている。

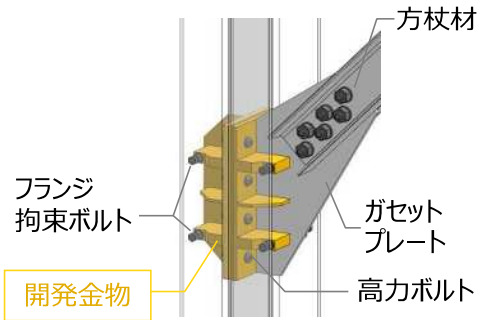
そこで、現場溶接が必要ない『スマートウィクシス工法』を開発

開発前



H形柱

開発後



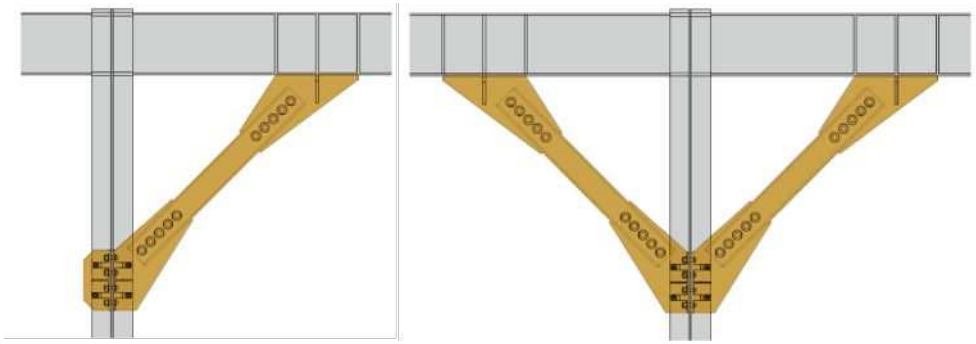
H形柱

開発

(1) 溶接接合と同等の接合性能を確保
(2) 高力ボルトによる無溶接接合
(3) 既存塗膜の上から接合可能

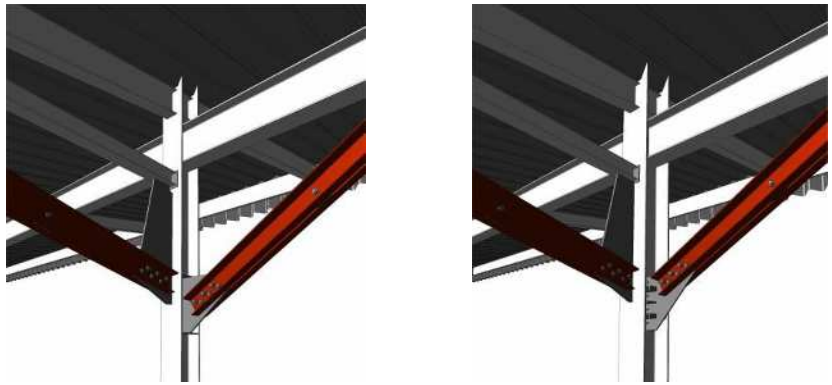
工期短縮、
コストダウンの実現

使用例



片側補強　　両側補強

3D図



従来　　スマートウィクシス工法

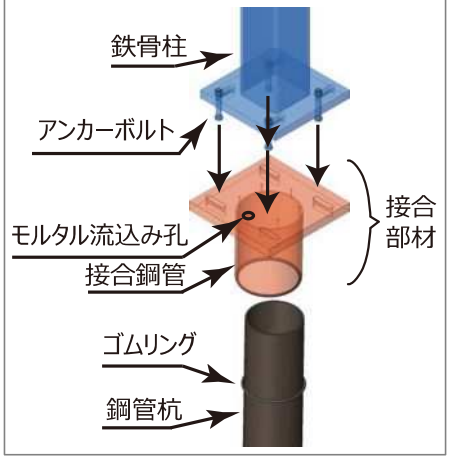
4.中計基本方針：成長戦略

上家基礎工法『柱杭スポッと工法』

- 従来の上家基礎は、基礎面積が大きくホーム上での作業スペース・作業時間が多く必要。
- 作業の種類も「掘削」、「配筋・型枠・コンクリート打設」、「埋戻し」と多く、コスト・工期を要する。

そこで省スペースでの施工、かつ掘削時間の短縮を可能とする柱と杭を一体化した基礎形式（コンパクト化）の
上家基礎工法『柱杭スポッと工法』を開発 ▶ この技術は作業スペース・掘削時間・掘削費の軽減を可能

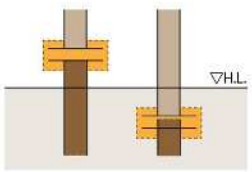
柱と杭を一体化



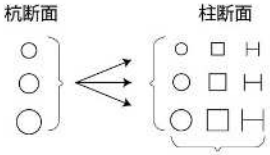
特徴

- 柱杭接合部の小型化 ▶ 掘削量や埋戻しの低減
- 工種の削減 ▶ 配筋や型枠、生コン打設の低減
- 柱・杭の断面を自由に選択可 ▶ スパンや重量、地盤条件に合わせた適切な設計

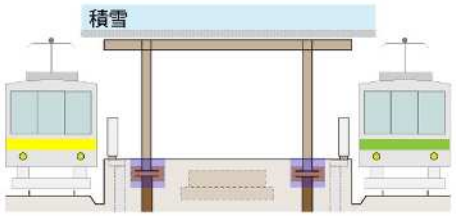
柱杭スポッと工法



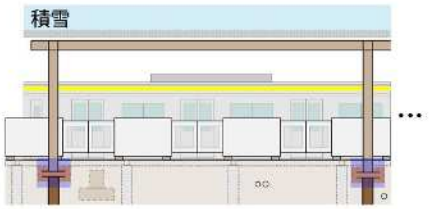
防錆措置を行えば
フーチングが不要



部材断面の組合せは自由



掘削量は僅か



ホームドア、多雪地域など柔軟で経済性のある設計

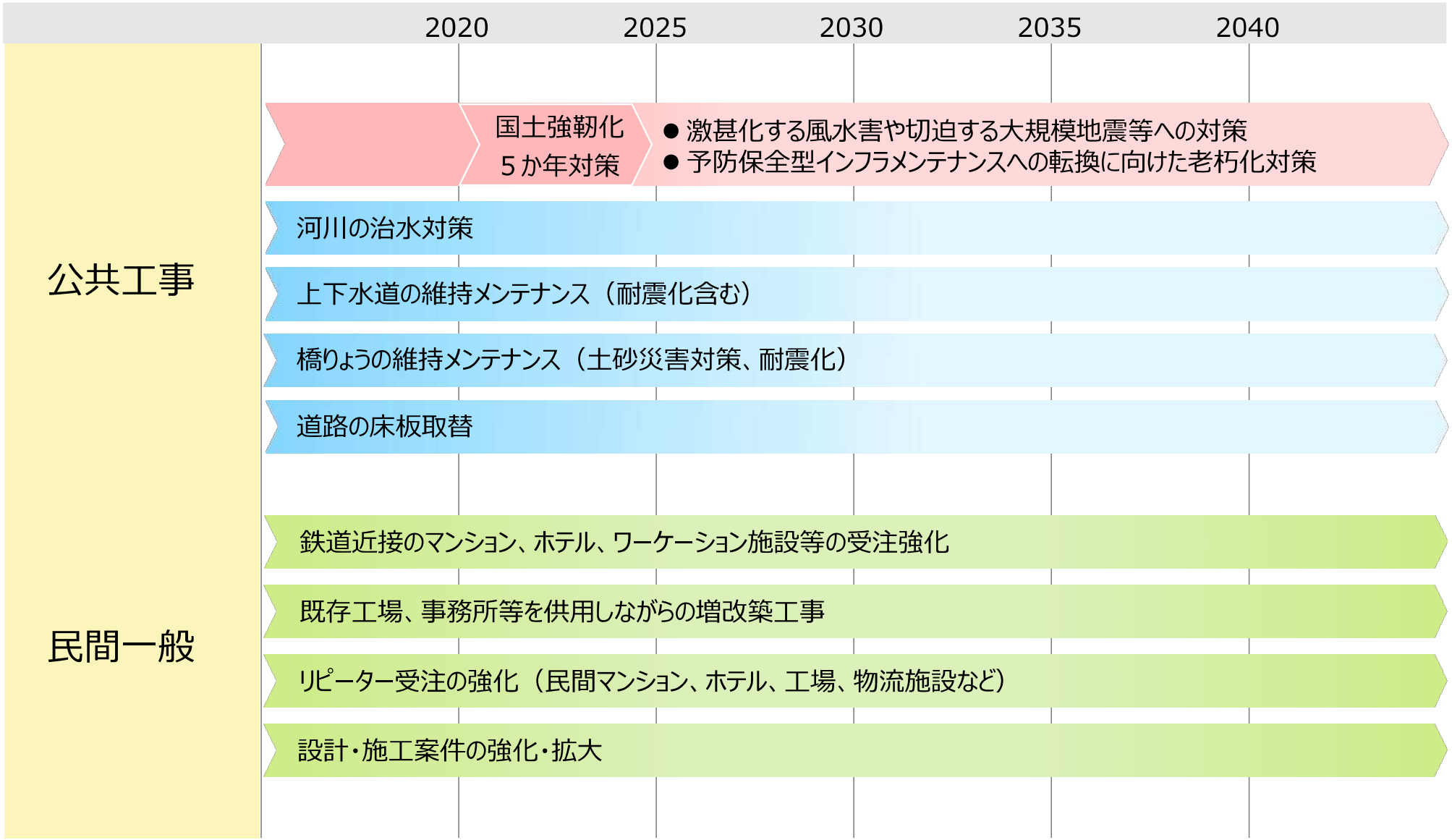
京浜東北線　鶴見駅　施工結果

- 柱断面を自由に選択できたため、大スパン化が可能となり川崎方面14本のうち6本を削減
- 柱や杭の本数が減少したため、躯体工事費、夜間工事日数の減少による保安費の低減
- 仮屋根設置手間の減少による仮設工事費の低減

以上を合わせた結果、▶ 工事費が14.8%減少

4.中計基本方針：成長戦略

今後の見通し



5.中計基本方針：Power Up Project Ⅱ

Z軸を伸ばす「Power Up Project Ⅱ」

前中計 Z軸
「Power Up Project」

基礎体力向上

- 安全・品質向上
- 生産性向上/技術開発
- 働き方改革/人材育成
- ESG

X・Y軸
「成長戦略」

スパイラル効果

新中計 Z軸 「Power Up Project Ⅱ」

成長を可能とする企業体力の「源泉」は 人材 と 技術

<重点実施事項>

- 『人材力』を高める
- 『技術力』を高める

- 安全・品質第一の徹底
- 働きがいのある職場づくり
- 生産性の向上、コスト削減
- ESG経営の実践
- 組織力・グループ力の強化

- 安全で良質な施工
- 新技術を活用した生産性の高い施工
- 難易度の高い条件下での施工
- 最適な原価管理によるコストダウン

を可能にする

「東鉄 3D Power Up Advance 2024」

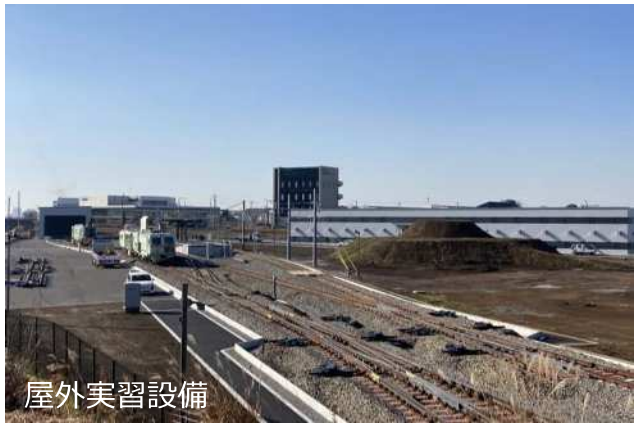
5.中計基本方針：Power Up Project Ⅱ

「東鉄総合研修センター」を開所（茨城県つくばみらい市）
～人材力・技術力の強化と地域住民の親しみのある場所へ～

社員・協力会社の
安全・品質レベルの向上

持続的成長のための
人的資本への投資を拡充

敷地面積　約4万㎡
（東京ドームグラウンド3個分）


屋外実習設備

安全研修室

屋外実習設備

5.中計基本方針：Power Up Project Ⅱ

ESG/SDGsの取組み目標

テーマ	SDGs	【指標】	【目標】
安全・品質第一の徹底		●重大事故、致命的労災件数	●発生数0件
働きがいのある 職場づくり		●女性技術者数 （2020年度比） ●休日取得	●女性技術者数倍増 ●4週8休100%
生産性の向上、 コスト削減		●1日当たりの施工高 完成工事高／人工（人日） （2016年度比）	●20%アップ （2025年度）
ESG経営の実践		●施工段階CO2排出量 （2020年度比） ●産業廃棄物最終処分率 ●再生バラスト出荷量 （2020年度比）	●9%削減 ●4%以下 ●10%増

5.中計基本方針：Power Up Project Ⅱ

環境（Environment）

- 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言への賛同を
  2022年２月に表明し、「TCFDコンソーシアム」に加入
- 環境本部と人材・技術開発部を一本化　環境面に配慮した技術開発を推進

TCFD TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

社会（ Social ）

- 「東鉄工業グループ人権方針」を策定
- 経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人」
  （大規模法人部門）に2年連続で認定

※　健康経営優良法人認定制度は、日本健康会議が進める健康増進の取組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度

2022 健康経営優良法人 Health and productivity

企業統治（ Governance ）

- これまでの経営諮問委員会を社外取締役を委員長とする指名・報酬委員会に改組
- 前期より女性社外取締役を選任　独立社外取締役が1/3となり、構成メンバーの多様化により取締役会を活性化
- サステナビリティ委員会を設置　ESGの取組みについて組織横断的に推進する体制を整備
- リスク管理委員会を設置　当社を取り巻く経営リスクを網羅的に管理する体制を更に強化

6.参考

当社ホームページ

当社ホームページでは、ニュースリリースを適時掲載しているほか、事業案内、企業情報、サステナビリティなどの情報を詳しく掲載しています。IR情報のページでは、IRニュース、中期経営計画、株主総会情報、各種IR資料を掲載しています。

東鉄工業　検索

クリック

本日はご清聴誠にありがとうございました。

免責事項

本資料は、当社の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではございません。

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。

従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

お問合せ先

東鉄工業株式会社
経営企画本部　広報・IR部

藤井　剛　中平　徹

03-5369-7611（IR直通）

コーポレートサイト
https://www.totetsu.co.jp/

IR情報
https://www.totetsu.co.jp/ir/